

牧歌

イタリアからフランスへ向う列車。

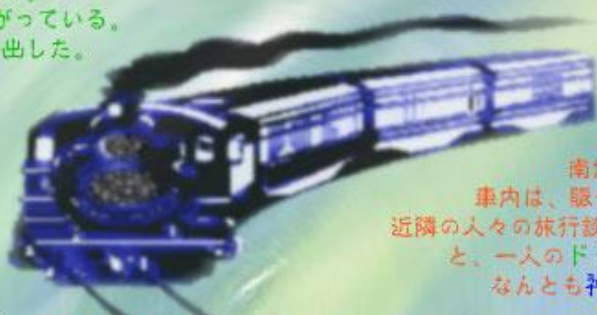
最後の車室に一人の太った女と、瘦せた男が向かい合っている。

二人とも出稼ぎに向うらしい。

車窓には、五月の見事な風景が広がっている。

と、女がおもむろに胸をはだけ出した。

ギイ・ド・モーパッサン 作



旅路

南仏カンヌを走る列車。

車内は、賑やかな会話が飛び交っている。

近隣の入々の旅行談義には退屈しのぎにはもってこいだ。

と、一人のドクターが話し始めた話は・・・

なんと神秘的な心震える話だった。

モーパッサン 1850-1893

北部ノルマンディーの中産階級に生れる。

フランスの小説家・劇作家

1870年、パリ大学法学部へ。

その後、普仏戦争で出征。

1872年ごろからフローベルの指導を受ける。

80年、エミール・ゾラと共に、

作品を発表する。

十年ほどの活動期間で、

およそ260もの作品を残す。

代表作「女の一生」「脂肪の塊」ほか

短篇小説のスタイルは、大きく分けて二つの流れがあるという。

一つは、19世紀後半のロシアの作家、人物を中心としたチエーホフ流。

そしてもう一つが、フランスの作家、物語ることを中心としたモーパッサン流。

おおよそこの二つの流れに分けられるのだとか。

で、今回はギイ・ド・モーパッサン。生没年共にチエーホフより10年遡る。



～アトリエ 劇座～

サロン風の空間で、

コーヒーなどを飲みながら

ゆったりと読演をお楽しみください♪

福岡市中央区六本松4-11-25

オリентビル5F

日程 2019年

5月10日(金) 15時～・19時～

20日(月) 15時～・19時～

★ 開場は30分前、上演時間は約45分です。

会場 演劇集団ばあくう・アトリエ劇座

料金 1,500円 (コーヒー・お菓子付)

ご予約は nrd47497@nifty.com まで

TEL 092-736-1220